



# ACTIVE 東翔

## 新入生120名希望に膨らませ入学



入学許可をうける新入生

四月九日(月)に、百二十名の新入生を迎え、入学式が行われました。石川校長は、新入生に対して地域の先生方や小学校や中学校の先生方に見守られて晴れて入学することができました。みなさんは多くの人に支えられて、ことに感謝してくださいます。また、みなさんは色々なことに期待をされていますので、頑張ってくださいと述べられました。

次に新入生を代表して一年二組・八並匠くんが、「一日も早く校風になじみ、学業に専念します。」と元気に宣誓をしました。



入学の決意を述べる新入生代表

真新しい制服に身を包み少し緊張気味でしたが、元気に校歌を斉唱しました。いよいよ高校生活の始まりです。何事にも意欲的にチャレンジして下さい。

## 東翔生、勢ぞろい、対面式実施

四月十日(火)の午後から、本校体育館で対面式が行われました。一年生が一組から四組の順番に二・三年生に拍手されながら入場しました。

初めに、生徒会長の三上阿友実さんが、「一年生のみなさん、心から歓迎します。これから楽しい生活を送ってください。東翔高校の歴史をつくっていきましょう。みなさんが、がんばりましょう。」とあいさつをしました。その後、吹奏楽



1年生が、2・3年生の拍手のもと入場

最後に一年生の代表の水野香さんが、「早く慣れたい、早く学校生活を送りたい、早く先輩と仲良くなりたい、早く学校生活を送りたい。」と、緊張感あふれるあいさつをしました。一年生から



吹奏楽部の演奏に、生徒全員拍手が起こる

部によるマーチングと演奏が披露され、曲が終わることに生徒全員から大きな拍手が起こりました。さらに、アンコールも沸き起こりました。

三年生までが勢揃いし、『H30東翔』が開始しました。今から東翔の新しい歴史をつくってください。頑張ってください。

## 春季戦第3位

### バスケットボール部

### 全校応援で白熱



四月十六日(月)に、東部体育館で行われた春季バスケットボール大会において、女子バスケットボール部が第三位になりました。

前日の佐世保南高に接戦の末、70対69で勝利し、準決勝の長崎女子高校と対戦しました。十時開始の準決勝に一年から三年までの全校応援で試合を盛り上げました。会場は東翔校生でいっぱいになり、割れんばかりの応援をおくり、シュートが決まるたびに歓声と拍手が起きました。選手の手が強い後押しになりました。試合は惜しくも73対91で敗れましたが、六月の県高総体に向けて弾みがつきました。リベンジを果たす目標ができました。

全校生徒が応援しています。がんばって下さい。



全校生徒が、大応援団でエールをおくる

最後に、コソコソと毎日努力を積み重ねていくとそれは「本物」になります。「本物」は三日坊主ではありません。ずっと続くのです。皆さんの目標としていることが「本物」になることを願っています。

新年度が始まって、約一カ月が経ち、みなさんも、「よし、今年は何をがんばるぞ」とか、このことを続けるぞという気持ちでいることでしょうか。ぜひその気持ちを忘れずに、この一年間を取り組んでください。

長崎県立佐世保東翔高等学校新聞部制作  
『第1号』  
平成30年5月10日(木)発行

## 職員へんりれー 第一回

「本物は続く  
続けると本物になる」

写真・新聞部顧問(数学科) 浅木 正博

このタイトルを見れば、一目で意味はわかると思います。「続けること」に加えて私は、「かしこさ」、「思いやり」、「健やかさ」の三つが「ほんもの」になるためには大切な要素だと思っています。

最初の「かしこさ」とは、自分でこんなことを頑張るぞという具体的な目標を立て、普段の授業に一生懸命取り組み、しっかりと自分を出し切ることです。当り前のことなのですが、そのことが自分らしい生き方につながる正道(かしこさ)ではないでしょうか。

二番目の「思いやり」とは、「あいさつ」の励行のことです。「あいさつは、人と人をつながぐ大切なもの」であり、優しい言葉を人に掛けることや、優しい行いがいっぱい増えることで人からも愛され、支えられることにもなります。ほんものになるためには、周囲の人の手助けが大事であり、その礎になるのが実は「あいさつ」なのです。

次に「健やかさ」とは、自己管理を厳しくして、心身を健全に保つことです。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」といわれますが、健全なる身体は健全なる生活によって養われるのです。

最後に、コソコソと毎日努力を積み重ねていくとそれは「本物」になります。「本物」は三日坊主ではありません。ずっと続くのです。皆さんの目標としていることが「本物」になることを願っています。

新年度が始まって、約一カ月が経ち、みなさんも、「よし、今年は何をがんばるぞ」とか、このことを続けるぞという気持ちでいることでしょうか。ぜひその気持ちを忘れずに、この一年間を取り組んでください。



(次回は、保健体育科の藤原秀一先生の予定です)